

# 家庭菜園相談室

今月の  
テーマ

## 芽かきでイモの大きさと個数を調整

ホクホクの「男爵」の味はジャガイモの代表格です。最近はいろいろな品種のジャガイモが出ています。皮の色が紫や赤いイモ、煮物にあうイモ、サラダ用、ポテトチップ用など用途に合った品種を選びましょう。

作型目安

		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ジャガイモ	春植え	●	—	▲	▲	■	■	■				
	秋植え								●	●	▲	▲

● 植付け ▲ 芽かき・追肥・土寄せ ■ 収穫

作ってみたい  
品種

- アンデスレッド：皮が赤いジャガイモで、加熱するとホクホクした甘みで煮崩れしない。
- インカのめざめ：イモは小粒。濃黄色できめ細かく甘さが定評。カロテンがたっぷり。
- キタアカリ：収穫量も多く、クリに似た食感と甘さ。カロテンやビタミンCが豊富。煮崩れしやすい。

栽培の  
ポイント

- 種イモは、種苗店（ファーマーズマーケットやホームセンター）で購入したイモを使うこと。食用のジャガイモや自家用のジャガイモは、ウイルスなどの病気に侵されている場合があり、収量が上がりません。
- イモの大きさは「芽かき」のときに残す芽の数で大きさが決まります。「芽かき」をしないと小さなイモがたくさんでき、「芽かき」をやり過ぎて1本にすると大きなイモができますが、中心部が空洞になったりするので注意しましょう。
- 土寄せが足りないと、地上にイモが顔を出して緑化してしまいます。芽に含まれるソラニン（有毒物質）が生成され、食べられなくなってしまいます。
- 秋作では、種イモを切ると腐りやすいので、小さめのイモをそのまま植え付けます。

**畑の準備**：植付けの2週間前に完熟たい肥1<sup>kg</sup>/㎡と米ぬかを撒いて良く耕します。苦土石灰や消石灰はそうか病にかかりやすくなるので散布しません。

**連輪作**：ジャガイモはナスやトマトと同じナス科の仲間です。3～4年の輪作が良いでしょう。

**種イモ**：大きなイモは40～50<sup>g</sup>に切り分けます。芽の数を平均にするために縦に切ります。そのまま2～3日おいて、切り口が乾いてから植え付けます。

**栽植密度**：畝幅60～70<sup>cm</sup>、株間30<sup>cm</sup>、畝高10～20<sup>cm</sup>（水はけの悪い畑では高畝にする）。畝の中央にクワで深さ7～10<sup>cm</sup>程の浅めの植え溝を掘ります。

**植付け**：植え溝に30<sup>cm</sup>間隔に種イモの切り口を下に向けて植付けます。切り口を下に向けるのは、芽が上向きに伸びるよう、また種イモが腐りにくくするためです。植付けた種イモと種イモの間に化成肥料（畑作名人N-P-K=13-13-13）を一握り（約30<sup>g</sup>）ずつ置き、クワで溝を埋め戻します。

**芽かき**：植付け2～3週間後、草丈が15<sup>cm</sup>位になったら、1株2～4本になるように芽かきをします。種イモと一緒に抜けてしまわないように残す芽の根元を押さえ、抜き取る芽を横に引っ張ります。

**追肥・土寄せ**：芽かきが終わったら、化成肥料（畑作名人N-P-K=13-13-13）を30<sup>g</sup>/㎡施し、土寄せを行います。クワで根や地下茎を切ってしまうように、株元から少し離れた土をすくい株元に寄せます。土寄せは、除草を兼ねて2週間おきに行うとよいでしょう。

**収穫**：葉や茎が枯れ始めたら、収穫適期です（春作では5月下旬から梅雨明け前、秋作では11月下旬から12月ごろ）。大きいイモほど「す」が入って空洞化してきてしまうので、葉が黄色くなってきた頃がベストです。土が湿っている時に無理に収穫すると、カビが発生したり、イモが傷つき腐りやすくなりますので、晴天が2～3日続いた日に行います。収穫したジャガイモは、かごに入れて風通しの良い冷暗所で保管します。収穫して半月ほど追熟させると甘みとうまみが増します。

家庭菜園に関する相談は、営農経済センターのTAC（タック）までご連絡ください。